

## I1

## 人の心をつかむプレゼンテーションの秘訣

2年4組3番 上野 桜

## 要 旨

プレゼンの能力は、生まれつきの能力ではない。誰もが自分に合ったやり方を見つけて、上手に話す技術を身につけられるのだ。TED Talks や文献から「よりよいプレゼンテーションとは何か」を分析し、自分自身の経験に基づく5分間の最高の英語プレゼンテーションを作り上げ、発表する。

## 1 目的

「広める価値のあるアイデア」でお馴染みのTED Talks のような、聴く者すべてを惹きつけ圧倒させるプレゼンテーションを行うために魅力的なプレゼンの要素を分析する。それをもとに英語プレゼンテーションを実践する。

## 2 方法

- ① TED Talks のように自分自身の経験に基づく5分間の英語プレゼンテーションを作り、10月のSSH中間発表で発表する。
- ② TED Talks の中でも比較的視聴回数が多い発表者の動画やプレゼンに関する文献を分析し、「よりよいプレゼンテーションとは何か」を研究する。
- ③ ②の分析をもとに、10月のSSH中間発表で行った自分のプレゼンテーションを修正し、最高のプレゼンテーションを作り上げる。

## 3 結果

TED Talks や文献から分かった魅力的なプレゼンの要素

## ① 印象的なつかみ

Cameron Russell: Looks aren't everything. Believe me, I'm a model. では、開始15秒後にステージ上で着替え始める。Robert Waldinger: What makes a good life? Lessons from the longest study on happiness では、始めに観客が興味を持つような問いを投げかけている。

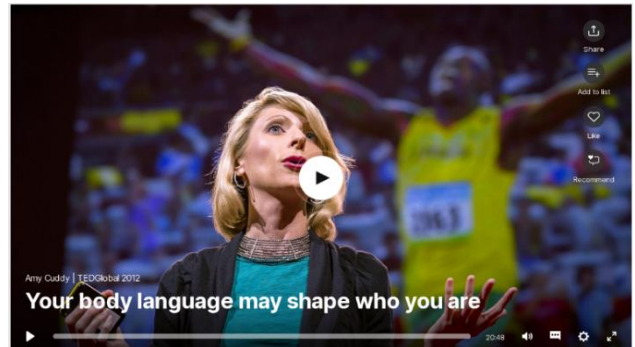
図1 ステージ上で着替えるキャメロン・ラッセル



## ② ボディランゲージ

発表者が最も多く取り入れていた手法だった。Amy Cuddy: Your body language may shape who you are や Tim Urban: Inside the mind of a master procrastinator では、説明の補助として効果的にボディランゲージを使っている。Julian Treasure: How to speak so that people want to listen では両手でボールを持つようなジェスチャーや広い立ち幅で自信を表し堂々と見せている。

図2 効果的なボディランゲージをするエイミー・カディ



## ③ 声の使い方・間の取り方

Julian Treasure: How to speak so that people want to listen では、強調したいところや観客の集中力が途切れてきた時に声域、声のトーン、抑揚、話すペース、沈黙、音量を上手く使い分けて観客を惹きつけている。

## ④ 笑い

Sir Ken Robinson: Do schools kill creativity? では、30秒に1回の頻度で笑いを取っている。Cameron Russell: Looks aren't everything. Believe me, I'm a model. では、自虐的なトピックで笑いを取りながら自分の話したいことを話しやすい雰囲気を作っている。

## 4 考察

## ① 印象的なつかみ

プレゼンの最初で観客の意識を自分に向けさせ興味を持たせることが重要である。他にもエピソードから始める発表者も多く、観客を引き込むためにテーマに合った出だしを考えることが重要だと考える。

## ② ボディランゲージ

自然なボディランゲージは観客の視線を引きつける上でとても重要だと思う。また、観客の表情や反応を見たりアイコンタクトを取ったりすることで観客には当事者意識が芽生え、プレゼンの説得力が増すだろう。よいプレゼンの鍵は発表者が自信を態度に示すことだと分かった。

## ③ 声の使い方・間の取り方

ただ大きな声を出すのではなく、自然と耳に入ってくるような心地よい話し方をするとより話が理解しやすくなると分かった。

## ④ 笑い

笑いは観客の心を開き、発表者と観客を結びつけるのに最も効果的な手段だと分かった。これを使うことで、共感を得やすくなり発表者の伝えたいことが伝わりやすくなると考えられる。

## 5 結論

TED Talks や文献から人の心をつかむ魅力的なプレゼンの要素を分析し、自分自身の経験に基づく5分間の英語プレゼンテーションを作り発表することができた。また、自分で考え作り出したプレゼンテーションを作り直すことで“よいプレゼン”のテクニックをより深く理解することにつながった。④の笑いはプレゼンに取り入れるには難易度が高く、テーマによって合わない場合もあるので、注意して効果的に使っていきたい。

## 6 参考文献

「Amy Cuddy: Your body language may shape who you are」  
<[https://www.ted.com/talks/amy\\_cuddy\\_your\\_body\\_language\\_may\\_shape\\_who\\_you\\_are?language=en](https://www.ted.com/talks/amy_cuddy_your_body_language_may_shape_who_you_are?language=en)> (2020/12/13 アクセス)

「Tim Urban: Inside the mind of a master procrastinator」  
<[https://www.ted.com/talks/tim\\_urban\\_inside\\_the\\_mind\\_of\\_a\\_master\\_procrastinator?language=en](https://www.ted.com/talks/tim_urban_inside_the_mind_of_a_master_procrastinator?language=en)> (2020/12/13 アクセス)

「Julian Treasure: How to speak so that people want to listen」  
<[https://www.ted.com/talks/julian\\_treasure\\_how\\_to\\_speak\\_so\\_that\\_people\\_want\\_to\\_listen?language=en](https://www.ted.com/talks/julian_treasure_how_to_speak_so_that_people_want_to_listen?language=en)> (2020/12/13 アクセス)

「Sir Ken Robinson: Do schools kill creativity?」  
<[https://www.ted.com/talks/sir\\_ken\\_robinson\\_d\\_o\\_schools\\_kill\\_creativity?language=en](https://www.ted.com/talks/sir_ken_robinson_d_o_schools_kill_creativity?language=en)> (2020/12/13 アクセス)

「Cameron Russell: Looks aren't everything. Believe me, I'm a model.」  
<[https://www.ted.com/talks/cameron\\_russell\\_looks\\_aren\\_t\\_everything\\_believe\\_me\\_i\\_m\\_a\\_model?language=en](https://www.ted.com/talks/cameron_russell_looks_aren_t_everything_believe_me_i_m_a_model?language=en)> (2020/12/13 アクセス)

「Robert Waldinger: What makes a good life? Lessons from the longest study on happiness」  
<[https://www.ted.com/talks/robert\\_waldinger\\_what\\_makes\\_a\\_good\\_life\\_lessons\\_from\\_the\\_longest\\_study\\_on\\_happiness?language=en](https://www.ted.com/talks/robert_waldinger_what_makes_a_good_life_lessons_from_the_longest_study_on_happiness?language=en)> (2020/12/13 アクセス)

「Harvard Business Publishing  
6 Ways to Look More Confident During a Presentation by Kasia Wezowski」  
<<https://www.dhbr.net/articles/-/4846?page=2>> (2020/12/13 アクセス)

クリス・アンダーソン (2016) 「TED TALKS  
ースーパープレゼンを学ぶ TED 公式ガイドー」  
(日経 BP 社)

ジェレミー・ドノバン (2013) 「TED トーク  
世界最高のプレゼン術」 (新潮社)

ガー・レイノルズ (2012) 「シンプルプレゼン」  
(日経 BP 社)